

春風駘蕩



生活参観 & 授業交流

▼6月7日～11日までの1週間、本校では「生活参観週間」を設定し、保護者に子どもたちの活動を直接見ていただく機会を設けました。▼予定では5日間で74名の参観希望があったのですが、最終日の11日は新型コロナウイルス感染症の地域感染レベルが2に引き上げられたことから、急きょ中止にさせていただきました。▼この日は最も多くの参観予定者があっただけに、大変残念であると同時に、申し訳なく思います。この間の授業の様子はホームページに掲載してありますのでご覧ください。▼またこの週は、本校の職員が互いに授業を見合い、学び合う「授業交流週間」でもありました。私自身も、全職員の授業を1時間フルに参観し、気づいたことを観察シートに



まとめ、授業者と意見交換を行いました。▼ちょうど、一人一台のタブレットパソコンが使用できるようになり、多くの先生が早速、授業で活用していました。子どもたちも目を輝かせながら、授業に臨んでいました。▼今後も、国家プロジェクトとして多額の費用をかけて導入されたICT機器を有効に活用できるよう「まずは使ってみる」を合言葉に、全ての教科で積極的に使用していこうと考えています。



評価方法が変わりました

▼6月16日付で、保護者の皆様には「市川中学校の学習評価について」という文書を配布させていただきましたが、ご確認していただけただけでしょうか。▼中学校では、今年度から新しい学習指導要領（学校の教育計画の基準）が本格実施となりました。これにより、各教科等の目標も整理され、学習評価も「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価することになりました。▼これに合わせ、本校では、観点別評価（ABC）と評定（54321）の算出方法や評価資料（何を使って評価するか具体）について、全校体制で時間をかけて検討してきました。そして、この内容をできるだけ分かりやすくお伝えするために用意したのが、今回の配布物です。▼昨年度までの最大の変更点は4観点から3観点に変更になったことにあります。（下の図を参照）これにより、従



来通り定期テストの結果も大切ですが、ワーク等の課題の提出率や作品の完成度、授業に取り組む姿勢等の普段の地道な努力がより一層重要視されることとなります。▼今回、その評価資料となるものを教科ごとに一覧にまとめましたので、ご確認ください。これらについては、事前に学級担任や各教科担任から、生徒にも説明してありますが、不明な点がございましたら、学校までお問い合わせください。▼1か月後には、通信表を渡すこととなります。本校では、今年度は、全教科で新しく導入された「校務支援ソフト」を使い、より公正で納得性のある評価に努めて参ります。ご家庭においても、この機会に、学校や家庭での学習について話し合う場面を設けていただければ幸いです。

